

平成27年度

事務事業評価表 A (平成26年度の実績評価)

記入年月日  
平成 27 年 4 月 28 日

事務事業名		岩瀬運動場管理運営事業				区分	事務事業No.	30423621	
						<input type="checkbox"/> 分野別主要事業	課内No.	21	
		政策体系上の位置付け				<input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業	主管課		
政策体系	総合計画の施策名	304	生涯スポーツ活動の振興			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会	
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/> 合併建設計画事業	所属課	スポーツ振興課 36	
	施策名	4	生涯スポーツ活動の振興			<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	課長名	笠倉 剛	
	基本事業名	2	スポーツ施設の充実と有効利用			<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業	グループ	スポーツ振興G	
		財務会計上の位置付け				事業期間	担当者名	鈴木 駿一	
予算科目	会計	1	10	6	2	4	一般会計		
		その他施設管理事業(岩)					<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し ( )年度~ )			
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( )年度~ )年度)			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標										
手段	① 事務事業の概要(事務事業の内容)					② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動				
	所在 桜川市青柳283 軟式野球1面 ソフトボール2面					施設の維持管理・委託契約・安全管理・貸出				
	(事務事業の手段) 桜川市が管理運営する事業です。管理運営には、市職員2名・臨時職員4名が従事しています。運動場の利用にあたっては、利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で使用することが出来ます。利用者からは減免に該当しない団体においては使用料金を徴収しています									
						⑥ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)				
目的	③ 対象(誰、何を対象にしているのか)					⑦ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
	市民					人口(常住人口)				
結果	④ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)					⑧ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
	市民のスポーツ活動の促進、体力づくり、健康づくりを安全に行う					利用者延べ人数(申請書に基づく)				
⑤ 結果(どんな結果に結び付けるのか)					⑨ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)					
スポーツを安心してできる環境確保ができた					スポーツ実施率					

(2) 指標値の推移										
区分		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
⑥活動指標	ア	日	309	310	310	310	310	310	310	
	イ	日	20	20	20	20	20	20	20	
	ウ									
⑦対象指標	ア	人	44,449	43,826	43,469	42,920	42,337	41,756	40,713	
	イ									
	ウ									
⑧成果指標	ア	人	10,228	10,400	10,400	10,400	104,000	10,400	10,400	
	イ									
	ウ									
⑨上位成果指標	ア	%	33.1	31.2	34.8	47.0	50.0	50.0	50.0	

(3) 投入量(事業費)の推移										
投入量	事業費	財源内訳	千円	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		使用料・手数料	千円	0	0	7	36	36	36	36
		その他	千円							
	事業費計(A)	千円	285	485	561	390	390	390	390	0
	人件費	千円	220	119	203	203	203	203	203	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	505	604	764	593	593	593	593	
	事業費の内訳	26年度事業費 実績(千円)	27年度事業費 予算(千円)	28年度事業費 計画(千円)	29年度事業費 計画(千円)	30年度事業費 計画(千円)				
需用費(除草剤等)		164	164	164	164	164	164	164	164	
役務費(汲取り料)		14	14	14	14	14	14	14	14	
使用料及び賃借料		188	188	188	188	188	188	188	188	
原材料費		24	24	24	24	24	24	24	24	
備品購入費		200								
合計	590	390	390	390	390	390	390	390		

(4) 当該年度の実施内容									
※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する		27年度の事業内容		28年度の事業内容		29年度の事業内容		30年度の事業内容	
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
未来プロジェクト事業	市長マニフェスト事業	合併建設計画事業							

事務事業名	岩瀬運動場管理運営事業	事務事業No.	30423621	所属課	スポーツ振興課
-------	-------------	---------	----------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 岩瀬運動場の建設に伴い、昭和48年12月から施設の利用が開始された。当時は、唯一ナイター設備の整った施設であった。現在は照明塔は老朽により使用できない。 倉庫 234㎡ 機械室 46㎡ トイレ
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 老朽化により使いつらいとの声が聞こえるようになっている。修繕については、予算面で即応出来ない状態があり、利用者に不便をかけている。団体も少なくなっている。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民がスポーツを安心してできる環境が確保されている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民にスポーツの実践の機会と環境を提供し、体づくりと健康増進につなげる。
	③対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 対象が市民であるので妥当である。
有効性	④成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 市民が安心して利用できるための安全確保が必要
	⑤廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い 類似事業なし <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない きめ細やかな直営の整備等により充実さを図る
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 臨時職員4人で管理しているが、岩瀬運動場のほか、真壁運動場、大和スポーツ公園などの管理も併せて実施しているため、削減の余地はない。
公平性	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に基づき見直しを行い、公平性が確保された。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市民が安心してスポーツを実践できる施設管理を行うことで、楽しみながら健康づくりを図ることができる。無駄なく施設の利活用ができるよう利用調整の密度を上げる。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下
(3)-1 改革改善策 無駄のない施設活用のための調整の密度をさらにアップする	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑦ コスト削減優先度評価結果 ⑥
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 安全管理をするうえで交付金事業の投下も必要と思われる	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 安全管理をするうえで交付金事業の投下も必要と思われる 確認欄
--	---